

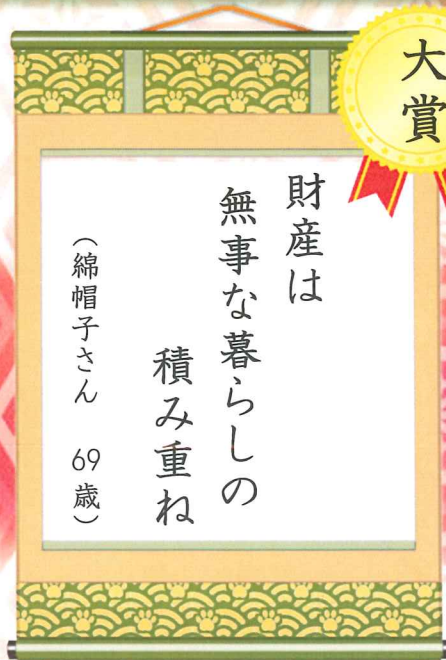
シニア川柳 入選作品発表

お題
「期待」「財産」

大賞

北は北海道から南は宮崎県まで、総人数 193 人 461 句の応募がありました。たくさんのご応募ありがとうございました。

—作品の掲載は順不同です—



野望あり

次の元号

まで生きる

(木立慈雨さん 58歳)

財産は

お前と生きた

長き日々

(かかしさん 69歳)

財布持つ

妻が余生の

舵を執る

(桃太郎さん 78歳)

財産は

あなたがくれた

笑いじわ

(やんちゃんさん 58歳)

こつこつと

守った田畑

行き場なし

(ハ巻テル子さん 93歳)

よちよちが

未来を背負う

一升餅

(いとろ滋さん 69歳)

老人会

期待の新人

70歳

(おーさんさん 71歳)

出来悪く

期待せぬ子が

親を見る

(安田蝸牛さん 62歳)

お題

「期待」「財産」

老いてなお

我が才能の

開花待つ

(しなやかーるさん 67歳)

70歳

(おーさんさん 71歳)

～講評～

「財産」「期待」というテーマが想像力を阻んだためか、その言葉を直接入れている作品が多いのが気になりました・・・。

ところが各書店員が五点ずつ選んだ作品の中で全員が、「財産は、無事な暮らしの～」に一位から三位の数字を入れていたのでした。

書店員はそれぞれが選んだ作品五点到、一から五の順位を付けて持ち寄って話し合うのですが、この作品はいずれも上位になっていましたので、今回の大賞となりました。

ちなみに大賞の次に多くの票が集まったのは「老いてなお 我が才能の～」と「野望あり 次の元号～」でした。

『終活をせねばならぬかと本を撫で』
六十一歳の書店員